

## 会 議 議 事 録

1 会議名	令和6年度 第3回社会教育委員会、公民館運営審議会
2 開催日時	令和7年2月21日（金）午後3時～午後5時15分
3 開催場所	長岡市中央公民館 大ホール
4 出席者	<p>&lt;社会教育委員兼公民館運営審議会委員&gt;</p> <p>野田委員、前田委員、小方委員、松井委員、今井委員、藤田委員、黒崎委員、西片委員、大森委員、梅澤委員、小川委員、大淵委員、山崎委員、小林委員、山田委員、若月委員</p> <p>&lt;市関係者及び事務局職員&gt;</p> <p>中村中央公民館長、今井中央公民館長補佐、池田係長、菅主査、池澤主査、鍋湯主査</p>
5 欠席者	八子委員、富永委員、岡田委員、荒尾委員
6 会議内容	<p>1 あいさつ</p> <p>2 議題</p> <p>(1) 令和6年度の社会教育事業に関する取組報告、質疑応答について</p> <p>(2) 令和7年度長岡市社会教育の基本方針（案）について</p> <p>(3) 令和7年度長岡市社会教育関係団体補助金（案）について</p> <p>(4) 令和7年度社会教育委員会、公民館運営審議会の活動計画について</p> <p>3 報告</p> <p>和島公民館の廃止について</p>
7 議題の審議結果	<p>(1) 資料1・4について事務局から説明し、現状や課題等の共有が図られた。</p> <p>(2) 資料2・4について事務局から説明し、承認された。</p> <p>(3) 資料3・4について事務局から説明し、承認された。</p> <p>(4) 資料5について研修委員長等から説明があり、意見交換等が図られた。</p>
8 議題の審議内容	
委員	<p>●議題（1）～（3）については、追加の質問、意見等はなし。</p> <p>●議題（4）について</p> <p>社会教育関連事業を紹介するプラットフォームづくりについては賛成だが、その媒体がホームページなのには疑問がある。若者や子育て世代のニーズを捉えて情報を届ける手段としては、SNSの方が見られやすく受け取ってもらいやすいのではないかと思う。また、同じ紙媒体でも、子育て世代は市政だよりも学校から配布されるチラシなどの方が情報をキャッチしてもらいやすいと思う。子育て世代も情報を欲しがっているので、情報を届ける対</p>

	象者（世代）によって、それぞれのニーズやタイミングなどに合わせた情報の入口を整備する必要があると思う。
委員	自ら探しに行かないと見つけられないホームページよりも、SNSのように自動的に情報が送られてくる方が手軽に受け取ってもらいやすい。各コミュニティセンターが発信しているSNSなどの情報を、取りまとめてあげるような仕組み、例えばコミセンコーナーなどがあつたら良いのではないか。
委員	例えばコミュニティセンターのインスタグラムなどに今回作成するホームページのリンクを貼ってもらい、PRするなどの連携が図れると良いのではないか。この取り組みは、社会教育委員が力を合わせて市民に社会教育関連事業を知ってもらう入口を増やすという意味で、効果的と考える。
委員	掲載情報が古く、更新されていないホームページは閲覧されなくなるので、カギを握るのは頻繁な情報発信である。この取り組みにおいては、社会教育委員が手軽に自身のスマートフォンなどで、掲載情報を更新できるような仕組みが必要だと思う。
委員	未だに社会教育とはどのようなものか、社会教育委員は何をやっているのか市民によく知られていないので、例えば市政だよりなどで広報するなど知名度向上に向けた基本的な取り組みやPRも必要だと思う。その上で、社会教育委員が勧める事業やイベントなどのPRが生きてくると思う。
委員長	今年度に引き続き市の各担当課が実施する事業やイベントなどに参加して、その感想や意見などを委員会に持ち寄って研究する活動に加えて、来年度は県の社会教育研究大会での発表を控えているので、その前にどのような発表内容にするかを委員会でも検討する必要がある。
研修委員長	社会教育とは学校教育を除くすべてであり非常に広範囲に渡るため、限られた委員会活動の機会の中で、市の社会教育の推進に貢献していく取り組みとして今回の提案をさせていただいた。
委員	何もやらないよりも、動き始めることで次の一歩が見えてくる。今回の新しい取り組みをとりあえずやってみて、その結果をみて再度やり方を検討するでも良いのではないか。まずは動ける人達を中心となって、もっとやり方や内容などを議論して、取り組みを進めてみてはどうか。
委員長	委員の中から何人かでも立候補してもらい、ワーキンググループを結成してその中で内容をブラッシュアップしながら進めていきたい。また、市政だよりなどで社会教育委員の取り組みを広報できると良いと思う。

委員	<p>第1回委員会で提供されたイベントリストの中から、25～26回ほど実際にイベントに参加してみたが、来場者が少ないというのが第一印象だった。今後の社会教育委員会で持続可能な範囲で実施していく取り組みとして、対外的に紹介しやすい内容でという考えと、一步踏み出して何か変えていきたいという思いがある。</p>
研修委員長	<p>本日出された様々なご意見を参考にしながら、新たに立ち上げるワーキンググループで新たな取り組みについて検討を進めていきたい。</p>
委員	<p>●その他、全体を通して 補助金交付団体の事業については、書面だけでなく実際に団体の活動を見たり参加したりして、意見や評価等ができると思う。また、伝統文化の継承や文化団体の存続などの諸課題についても、深く考える機会があると良いと思う。</p>
委員	<p>例えば情報発信のワーキンググループのほかに、伝統文化について深く考えるワーキンググループなどがあっても良いのではないかと思う。</p>
<p>9 会議資料                      別添のとおり</p>	